

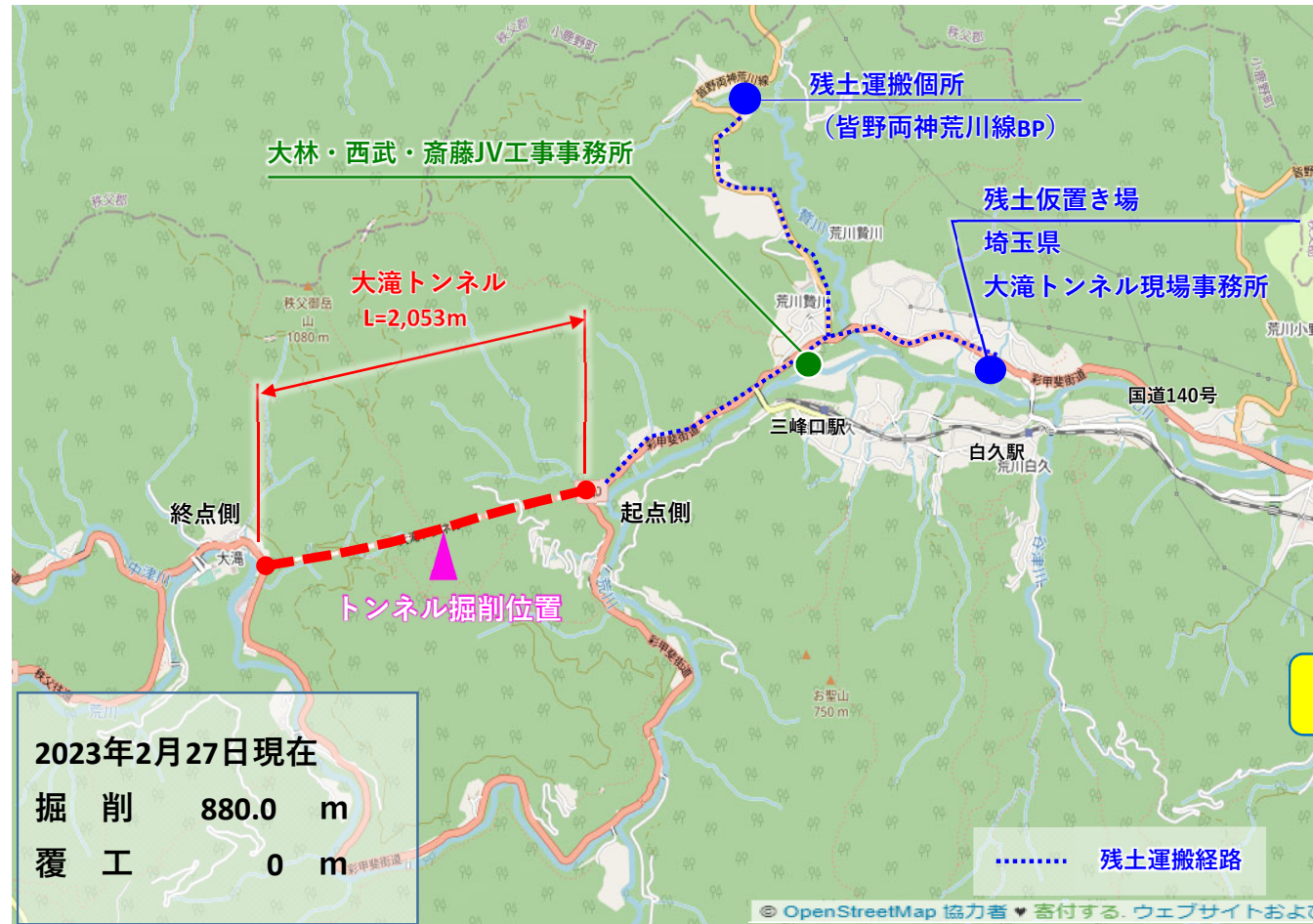


大滝トンネル 工事情報通信

No. 7 2023年3月

厳しい寒さも峠を超え、春めいた風を感じる今日この頃ですが、皆さんお変わりありませんか。今年は花粉の飛散が多くなる予報が出ており花粉症の方には大変な季節ではあると思いますが、車の運転等注意し安全運転で行きましょう。

トンネル工事も大きなトラブル等もなく掘削しており、後140m程度掘削すると一番土被りが深くなる所で、地表面より450m程度下を進むようになります。4月中旬より覆工コンクリート（仕上げのコンクリート）も併進して進める計画です。1回当たり約28台分の購入生コンを打つようになり、残土運搬の他に生コン車も走るようになるため交通量が多くなりますが、皆さんの運行に支障をきたさないよう安全に配慮し工事を進めますのでご協力をお願いします。



大滝トンネル掲示板設置



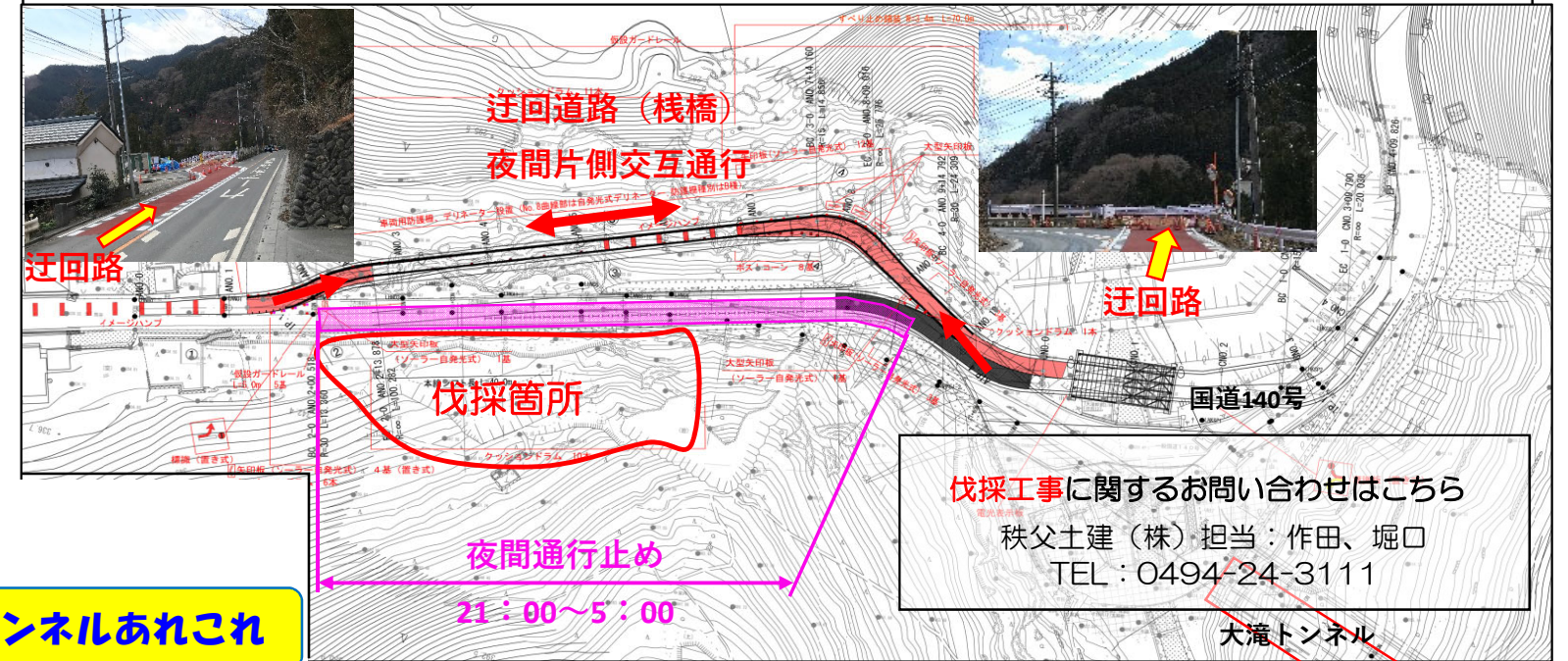
大滝トンネル終点側（落合地区側）へ『大滝トンネル掲示板』を設置しました。1週間に1回程度工事の進捗が解るように表示しますので是非ご覧ください。

工事の進捗状況及び、今後の予定

3月・4月も引き続きトンネル掘削を行います。1日当たり5~6サイクル（6.0m~7.2m程度）掘削し掘削残土は皆野両神荒川線BPへ運搬します。また、4月より覆工コンクリート（仕上げのコンクリート）を開始します。初めは断面変化箇所になりますので時間を要しますが、それ以降は概ね2日に1回（1回当たり12.5m）週3回程度コンクリートを打設するようになります。最初の覆工コンクリートは4月12日頃を予定しています。

交通規制情報

国道140号トンネル入口部の土工区間立木伐採工事を3月1日~3月17日まで計画しております。伐採工事は**夜間21:00~5:00**までを計画していますが、道路まで立ち木が張り出している状態であるため、**現道を通行止めとして棧橋を使って片側交互通行**していただくようになります。施工時には交通誘導員を配置しますので、指示に従って通行いただきますようご協力をお願いします。なお、土曜日及び日曜日は作業を行いませんので通常通り通行が可能です。



トンネルあれこれ

トンネルの測量

よくある質問の中に、トンネルはどうして両側から掘ってうまく貫通するかと質問されることがあります。今回は測量についてお話ししたいと思います。50年ほど前は角度を測る機械（トランシット）と巻尺、高さを測るレベルが主たる測量機械で、トンネルを掘る予定箇所の地表面をトンネル線形に合わせて測量し、反対側と正しく位置が合うか確認した後、トンネル掘削を同じ測量方法で行い掘りました。その後、光波測距儀（光で距離を測る機械）が出て、一回で測れる距離が非常に長くなったため、山を越えて測量する必要がなくなりました。そして今は、GPSを使うことで空の見える箇所は非常に高い精度で位置が解るようになり、その基準点を使ってトンネルを掘ります。ただし、トンネル坑内はGPSが使えないので、今でも測量機械を使って、私たちが何回も何回も測量し精度を上げてトンネルを貫通させます。間違いはないと思っても、貫通近くになると今でもドキドキです。

問合せ先

大滝トンネル事業全体 に関するお問い合わせはこちら

埼玉県西関東連絡道路建設事務所
住所：秩父郡皆野町皆野2511-1
TEL：0494-62-5811
担当：菅沼、宮城、小池

大滝トンネル本体工事 に関するお問い合わせはこちら

大林・西武・斎藤JV工事事務所
住所：秩父市荒川贅川 703-1
TEL：0494-26-6371
担当：古家、小野寺、寺園